2026 年 11 月 5 日

建設労務安全研究会

労研創立８０周年記念パーティー　開式挨拶

本日はご多用のところ、建設労務安全研究会創立 80 周年記念式典にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

ご来賓各位並びに会員各社、関係団体の皆様のご参列のもと、盛大に本式典を開催できますことを心より御礼申し上げます。

創立 80 周年記念式典を開式するにあたり、理事長として一言ご挨拶を申し上げます。

当研究会は、1946 年の発足以来、戦後の混乱期から高度成長期、そして社会環境が大きく変化する現代に至るまで、時代の要請に応えながら、建設業界における労務および安全衛生の向上に取り組んでまいりました。

本日、こうして創立 80 周年という大きな節目を迎えることができましたのは、先人の皆様が築き上げてこられた確かな歩みと、長年にわたり当研究会を支えてくださった会員各社、関係団体の皆様、さらには日頃よりご指導・ご支援を賜っている行政、発注者をはじめとする多くの皆様のお力添えの賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

また、この記念すべき 80 周年の節目にあたり、引き続き理事長という重責をお任せいただいておりますことは、私にとりまして大きな名誉であると同時に、その責任の重さを改めて実感するところであります。皆様から寄せられたご信任に対し、心より御礼申し上げます。

現在、建設業界を取り巻く環境は大きく変化しております。高年齢労働者の増加や外国人労働者の就業拡大など、働く人の構成が多様化する中で、安全管理の在り方も新たな対応が求められています。転倒や墜落といった行動災害の防止、身体機能の変化を踏まえた高年齢労働者への配慮、さらには猛暑が常態化する中での熱中症対策など、「人の命と健康を守る」という原点に立ち返った取り組みが、これまで以上に重要となっています。

当研究会は、創立以来一貫して掲げてきた「働く者一人ひとりの安全の確保と健康の増進」「快適な職場環境の確立」という安全衛生理念のもと、現場に寄り添い、実効性のある活動を積み重ねてまいりました。80 年にわたり受け継がれてきたこの理念と実践の積み重ねこそが、当研究会の最大の財産であると確信しております。

本日の記念式典が、これまでの歩みを振り返るとともに、先人から受け継いだ志と使命を次の世代へ確実に継承し、当研究会、そして建設業界全体のさらなる発展を誓い合う機会となれば幸いです。
私自身、理事長として、この 80 年の歴史の重みを胸に刻み、皆様と力を合わせながら、会のますますの繁栄に向けて全力で取り組んでまいる所存です。

AI や ICT などの技術が急速に進展する時代となりましたが、最後に安全を守るのは現場で働く一人ひとりの感性と責任感であります。当研究会は、こうした時代の変化を的確に捉えながらも、安全の原点を見失うことなく活動を続けてまいります。

結びに、本日ご出席の皆様に改めて御礼を申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご活躍、そして本記念式典が実り多きものとなりますことを心より祈念し、開式のご挨拶とさせていただきます。